

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	東京慈恵会医科大学附属病院における抗アミロイド抗体医薬の使用実態		
1. 研究の目的と方法	本研究の目的は、東京慈恵会医科大学附属病院（以下本院）での抗アミロイド抗体医薬投与にあたっての院内での運用上の工夫、抗アミロイド抗体医薬導入に至るまでの現状、導入に至った症例と至らなかった症例との比較を報告することです。 本研究の方法として、2024 年 4 月以降、抗アミロイド抗体医薬（レカネマブ）を投薬開始した 12 例、及び、抗アミロイド抗体医薬の導入を検討したが、導入に至らなかった外来患者さん約 29 例を対象として、本院の電子カルテに入力された年齢、性別、MMSE 得点、ApoE の検査結果、投与開始後の副作用の発生頻度、投与半年後の MMSE 得点、投薬に至らなかった理由（除外理由）の 7 項目に関する分析を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2024 年 4 月から 2025 年 6 月までの間に東京慈恵会医科大学附属病院の精神神経科を受診した患者さんのうち、抗アミロイド抗体医薬（レカネマブ）の投与を検討した患者さんです。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	・ 年齢・性別・MMSE 得点・ApoE の検査結果・投与開始後の副作用の発生頻度・投与半年後の MMSE 得点・投薬に至らなかった理由（除外理由）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録からデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 精神医学講座
		氏名	教授 品川俊一郎
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 精神医学講座 教授 品川俊一郎	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2025 年 9 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 精神医学講座 研究責任者：教授 品川 俊一郎（しながわ しゅんいちろう） 窓口担当者：同上 電話番号：03-3433-1111（内線 3301） 対応時間：平日 09：00 ～ 16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。